

これなあに？



大文字と花火の絵

～長根山運動公園前～

長根山運動公園の陸上競技場前に東北電力の送電線の鉄塔が。鉄塔上には6万6,000ボルトの電流が流れ、大館市内に電気を供給しているとのこと。この場所には市民をはじめ多くのかたが集まることから、危険防止のためにフェンスを設置しています。設置の際、東北電力の大館技術センターの職員から「人々が心とむようなフェンスにできないか」との意見が出され、検討の結果、「大文字と花火」の絵を採用したのだそうです。なお、市内のフェンスに絵が描かれているのは、ここだけとのこと。



大館ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより ②

会計 松岡 真理子 さん

(東京都昭島市在住)

十一月二十三日、第三回ふるさと会総会、懇親会が椿山荘において盛況に開催され、ホッとしているとあります。

当日までは目標人数に足りず、

役員会で幹事長より「役員一人十人の目標で、誘いの電話をして報告すること」との檄が飛ばされた。懸命の呼び掛けで、目標数の確保にこぎつけることができ喜んでおります。ご支援いただきました市関係者の皆様に、心より感謝いたしております。

私がふるさと会の会計を引き受けてから二年余りになります。最初は、関東在住の数名のかたからの「ふるさと発展のため、何か手伝えることはないか」との呼び掛けで、大館市役所や商工会議所等の援助のもと、懇親会がもたれ

ました。微力な私には、課題が大きすぎ、その場にいるのが場違いの感じがしました。度々開かれる打ち合わせ会に出席するのは、正直に申し上げておっくうでした。会を重ねていく中で、「大きな課題は課題として、大館にゆかりがあり、東京近郊に在住するかたたちの親睦・交流のできる場をつくることから始め、その中でふるさと大館をより広く知ってもらえれば宣伝にもなるし、情報交換の手助けができるかも知れない」と、ふるさと会の準備が進められてきました。それならば私にも手伝いができるのではと思ひ、引き受けることにしました。

上京してから二十年、大館市が自然と調和しながら発展していくことを期待し、少しでも役に立てればと思っております。

藤沢発 → 大館着



前略

大館市民になりました

⑥9

☆今回は、芦田子の伊藤勉さんご一家です。

Q. ご家族は何人ですか？

私と妻の宏美、長男の賢一（長木小学校三年生）の三人家族です。

Q. どちらからおいでのになりましたか？

昨年の四月、神奈川県藤沢市から転動してきました。

Q. こちらに来て友達ができましたか？

近所のかたが大変親切で、妻や子供はたくさんの方が通ったのですが、そのときにできた友達と仲良くさせていただいております。

Q. 食べ物や言葉はいかがですか？

近所の方にタケノコ採りに連れて行ってもらいました。それで缶詰をたくさん作りました。また、大家さんが家の裏を耕してくれたので、野菜を作ってみました。そのお陰で、昨年はほとんど野菜を買わずに済みました。たくさん採れたので藤沢市の友達などにも送ったんです。言葉については、少し早口ですが、前後の言葉をつなげれば

Q. 大館に望むことは？

大館の道路は、車優先のようになっています。街灯が少なく、夜になると真っ暗になってしまいます。もっと歩行者を大切にしたいですね。また、昨年十一月にあったドームの上棟式に、近所のかたと見に行つたのですが、関係者以外は入ることができません。もう少し、工事現場の周辺の人たちのことも考えて欲しいですね。

